

OB会報

湘南サッカーチームOB会

第15号

回顧片々

OB会会長 1回

天野 武一

遠く明治四十一年生れの私は、去る平成八年に迎えた九月二十一日の誕生日をもつて満八十八歳に到達した。しみじみ老残の身を自覚しつつ回顧すれば、大正四年、当時の鎌倉町に住んで県立鎌倉師範学校附属小学校に通つて「相武の二州は天下に敵す」を高唱して第一次世界大戦での少年期を過ごし、ついで大正一〇年、藤沢町に新設の県立湘南中学を目指して仲間を誘い合つて全員入学を果たし、三年生となつた時の大正一三年九月一日には関東大震災に襲われたりしたが、グラウンドに出て先生方ともども興じ合つたのは蹴球であつて野球ではなかつた。初代校長赤木愛太郎先生が蹴球を奨励されたからにはかならない。その頃はサッカーと言わず、單に「蹴球」といえば、アソシエーション・フットボール（対称はラグビー・フットボール）又はア式蹴球（対称はラ式蹴球）と呼んでいたのである。

思うに、わが国におけるサッカーは東京高等師範学校（東京高師）が中核となつて広く各府県における師範学校に普及し、プレーのほか審判員もその線で育成

されてきた気がする。少年期の私も三人の弟とともに鎌倉師範の学生が蹴球の練習や試合をするのをみてその実技やルールに親しんでいたのであつた。

私は、ここで、サッカーの名選手で湘南中学の数学の教壇に立たれた後藤基胤先生のことについておきたい。東京高師から後藤先生が湘南中学に着任されたのは私が四年生のときの様に記憶するが、

小柄な体格で動作の素早さからポケット猿（略してポケさん）の名を伴つておられたけれども、実は大正一〇年（西暦一九二一年）当時の全関東蹴球団の一員としてわが国最初の海外遠征（上海）をされた日本代表となり、フィリピンや中国を相手に歴戦された名選手であられた。

先生はのちに湘南中学から学習院に移られて永く奉職されたのち、惜しくも生涯を閉じられた高名の教育者であられた。その御葬儀の際は、何も知らずに赤坂の迎賓館前を歩いていた私が、学習院付近の掲示を見て驚き、突然に参入した奇縁につながる物語となるのであるが省略しよう。

（平成八年一二月二〇日記）

会長に就任してのご挨拶
「現役を応援しよう！」

OB会副会長 22回

天野会長が秋の誕生日（九月二十一日）をもつて米寿を迎えた。誠にお

さめた母校のサッカーチームOB会の会長を辞任せていたらしくあたり、会員及び、関係各位に御迷惑をおかけするばかりであったことを哀心より申訳無く存じ、おわび申し上げるほかはない。顧みて何の功績もありえないことを自覺するのに對して、何かしら米寿の齢を祝つて下さるらしい趣向を仄聞するが、斬様なことは堅く遠慮させていただきたい。私は、そのような思召をお受けすることができないので、断然欠席する他なしの心境であることを是非とも御理解、御許容賜るよう切願してやみませぬ。わが敬愛する桑田新会長以下の立派な陣容によるOBの御応待をつづけさせて下さい。

妄言多謝。

（平成八年一二月二〇日記）

OB会副会長 22回

桑田 孝

サッカーの戦績を知らしめる文献として、日本蹴球協会創立五〇年記念出版の日本蹴球協会編「日本サッカーの歩ゆみ」（昭和四九年二月四日第一刷発行、講談社）がある。そこで私どもは、懐かしい母校の名と戦績を知ることができる所以出度いことで心からお慶び申しあげると共に、今后共健康にご留意され何時までもお元気でいらっしゃることをお祈り致します。

湘南サッカー部OB会報

平成8年12月30日

又、それを機に湘南サッカー部OB会長を辞任されたとのことだが、第一回の卒業生として、初代の会長として今日まで湘南サッカー部の発展に尽された功績は大きい、全会員を代表して深く感謝申しあげたいと存じます。

ところで、会長の後任に私をとのことだが、湘南も創立七十五周年を迎えた毕业生も今年で七〇回、サッカー部OBも七百人を超える大人數となつていて、色々の方々のご協力なくしては円滑な運営も出来なくなっています。どうか会員全員のご協力、ご支援を心からお願い申しあげます。

又、OB会は現役あつてのものなので、現役の活動を支援・応援するのも大切な仕事だと思いますが、現在神奈川県の高校登録チーム数が二一六校、湘南地区の代表になるのすら大変な時代になつています。本年の秋の試合では湘南地区の二四校を六ブロックに分けリーグ戦を行い、各ブロックの一・二位で更に地区代表決定戦が行われました。それに残ると高校選手権大会のベスト16のチーム三校（日大藤沢・七里ヶ浜・湘南工大）が加わって九チームでのトーナメントによる地区のシード決めの試合が行われることになつております。

何が何でもこの地区代表にならないと県の中央大会の出場は勿論のこと、来年の関東大会の予選にも出られないそうです。今や県の代表になるのは鈴木中先生に言わせると気の遠くなるような話であ

ると言つています。そんな状態ですから試合数も増えており、良い監督、コーチと言つた指導者がいなければ勝ち進むことが出来ないのは当然ですが、今の湘南は監督だった藤塚先生が四月の異動で去られたきりで後任がいない状況です。生徒数の減少で後任の体育教師の補充はな

いそうですから放つて置くとこのままの状況が続きそうです。幸い長年湘南の先生・監督を勤められた鈴木中先生が四月に県立海老名高校の校長を定年になられ、ご自分から湘南の監督を買って来て下さいました。（寄稿後、現役戦の会場が希望ヶ丘高校に変更になり蹴球祭の時間も変更になりました。ご了承下さい。）

提案 「OB会に幹事制を」

OB会副会長 27回

柳川 明信

昨平成8年桑田先輩は副会長に就任されてから、現役の練習、試合の観戦、

合宿・合宿・遠征等にかかる費用も膨大、専任の先生がいないこともあり色々難しい問題があるようです。未だその他に道具・トレーナー・医療の問題とか色々あります。それが解消するには財政的な裏づけがなくては解決出来ない問題もあります。会費納入に付き格別のご協力を会員の皆様にお願いする次第です。

幸い今年のチームはCブロックで二位でしたがDブロック一位の慶應藤沢を一一〇で破り湘南地区の代表となり県大会出場権を得ました。レベルの高いこの地区から中央大会に出場するのは大変なこ

とだということを良く認識して貰いたいと鈴木先生は言つています。一月十二日の中央大会の一回戦にも勝ち、十五日・

蹴球祭の当日湘南で行われる二回戦に出場、蹴球祭に集まつたOBが応援出来ることを期待しています。どうか皆様の

絶大なるご声援をお願いします。（寄稿後、現役戦の会場が希望ヶ丘高校に変更になり蹴球祭の時間も変更になりました。ご了承下さい。）

とだけでもこの会合は意義があつたと 思います。

昨年11月現役が年間最終戦に勝ち、新人戦出場権を得た後、桑田先輩、鈴木先生、須藤、相羽君と懇談し、その席で、現在の学制の限られた実質2年の在籍期

間でも、再び全国大会に出場できる可能性があること。他校の指導者や現役が湘南の伝統に関心と敬意を持っていること。この可能性のために努力を傾注されていることなどを聞き、このようなことを多くのOBに分かってもらい、その為にOBには何が出来るかを伝える必要性を感じました。そこで7月に参集した各年代のOBで幹事会（仮称）をつくり、会長、副会長、事務局と連動して活性化を図り、現役支援をより具体的なものにしてして行けないと考えました。

幸いOB達は旧制中学年代、湘南ペガサス（故岩淵さんの命名）の60代・50代・40代チーム、更に30代の若手チームと、年代別に一応組織化されています。この各チームの持つ結束力が十分力になれると思います。諸兄の活発なご意見を歓迎します。

鳴門にて

54回生 藤塚 久雄

は、相羽・山口・関君他の諸兄にオマカセ型で、各年代毎のチームを通じての交流はあるものの、全代の現役支援の考え方が不足していたとの共通の反省もありました。このような認識を持ってたこ

ラーメンにのせるナルト巻のスライス

や、鳴門の渦潮が思い浮かびますか。鳴門ワカメ、鳴門鯛、鳴門金時などが名品として有名なようです。私は、今、海あり、山あり、まさに大自然の真只中といたロケーションの鳴門教育大学で修士課程に学んでいます。最近では、セクハラ教授がマスコミに取り上げられて、少し全国的な知名度をあげたようです。

さて、人事の常ですが、私の異動について、OB会の皆様にお知らせすることが突然となり、これまでのご支援やご助力に対してもお礼を申し上げることが遅れてしまつたことを、この紙面を借りてお詫び申し上げたいと思います。また、生徒・部員たちにもかなりの負担をかけしまつたことも心残りですが、後任の方々が上手にフォローしてくれているものと信じております。

振り返って見ますと、1984年に着任以来、様々なエピソードに出会つきましたが、なかでも校舎改築中のグランド無しの期間を何とか乗り越えられたことが、毎日が忙しく、冷や汗の連続ではありました。良き体験のひとつとして思い出されます。

先輩方の援助を得て、1993年の鹿島合宿が実施できたことは、Jリーグ元年の1stステージにおける鹿島アントラーズの優勝と併せて強く印象に残っています。また、長野への遠征合宿や体育センターでの合宿などOB会のご支援が無ければ実施できないことが多くあります。また、当時の部員たちの苦労や努力に

も感謝を忘れてはならないと思っています。

普段の練習場の確保や、このハンデを乗り越えるための招待大会の実施にあつても各方面から、熱いサポートを受けることが出来たことがうれしく思い出されます。

96年3月のOB総会の試合が、グランドが使用できなかつたために、市営グラウンドへの移動を伴つたものとなり、皆様にご迷惑をおかけしてしまつたことを申証なくおもつてています。私自身、新グランドでボールを蹴ることを楽しみにして、お詫び申し上げたいと思います。まみは、98年の4月以降までとつておくことにしたいと思います。

ともあれ、監督の任を解かれた訳ですので、これからは普通のOBの一人として、現役をサポートし、自分のサッカーをエンジョイして行きたいと考えていますので、これからは、このスタンスでのお付き合いをお願い致します。

今は、鳴門での生活がとても気に入っています。休日に、海や山で子どもと一緒に家族で過ごせる贅沢、かつて無かつた喜びを感じています。釣も少し覚えました。機会があれば、遊びに寄つてください。こちらで職さえあれば永住したいくらいですが、98年には神奈川に帰任する予定です。

皆様に、またお会いできることを楽しみにしています。

3・勝負強さ・チーム力・伝統・個性的いろいろな意味で「湘南らしい」が失われているが、これは今

監督を引き受けて

鈴木 中

後指導で回復できるかどうか、大きな問題点である。「個」が先になり「チーム」が2番目が浸透してしまい、毎日の練習よりも「塾・歯医者・委員会等」でなかなか全員の顔が揃わない。腐つてしまつたか」

私は「教える」事によりまだ可能 性はあると信じている。只立場が嘱託コーチで内部の人間でないので、施設利用等(グランド使用・照明使用・試合計画)思うように、事が運べない。「体育科の指導者にサッカー専門家を...」まず

は解決したい。

県内216校の頂点に立つためには、先ずは良い選手を入学させることである

が、中学生で頭の良い選手はいるはずでない。当然のことであり、これは制をとつたが、なかなか機能できな。外部へのPRだけで効果はあつたと思う。(現状は須藤和重63年卒・コチラ依頼・ほとんど毎回練習に参加指導している)

2・部員は約50名、平均して皆ある程度の技術はあるが、際立つた特徴のある選手や運動能力の高い選手はいない。「上手いな」と思うが「強いな」とは感じない。

3・勝負強さ・チーム力・伝統・個性的いろいろな意味で「湘南らしい」が失われているが、これは今

コーチ新任の挨拶にかえて

63回 須藤 和重

今年の四月から現役のコーチとして、監督の鈴木中先生の指揮の助けとなるべく、また幸運にも全OBの方々を差し置いて自分自身の時間を湘南サッカーチームのために未熟であると思うが、使えるといふことに、重責を感じつつも精一杯取り組んでいる。

さて実際にこの約六か月ほどの間現在の選手たちとともに実際に練習、試合など、そしてまたは合宿と、サッカーに関わるすべてのことを取り組んできたが、自分今までに経験してきた、多少なりとも彼らより長いサッカーに割いた時間から、自分なりのサッカーに対する考え方、それはばかり勝つためには何を考

え、どう行動すれば良いか、ということを、彼らに対して伝えようと、彼らとともに困難の連続ではあるが、それだけに一步一歩目標にステップアップすることができると大きな満足感をあじわうことになり喜びとまた次への躍進の原動力と成ることを感じ、充実した日々を送り続けている。

そして彼らにはその勝つこと、神奈川のトップになり、全国を制覇するために、伝えなければならないことがたくさんあります。

んあるけれども、技術、体力、なによりも大事なことはそれらをつかさどる心、精神面、意識、といった、サッカーにどれだけの想いと、どれだけの勝負に対するこだわりと、そして何よりここ湘南でサッカーをやっているんだという初先輩たちの作り上げてきた偉大な歴史の伝統に基づくプライドというものの、これらすべてを高めていつて欲しい、そうすれば必ず楽しさやこの上ない至福のときを経験することができるんだということ、「湘南でサッカーをやっててよかった」と思えることを自分は本当に微力ではあるが人一倍サッカーに対する熱いこだわりがあるので、少しでもそれがうまく伝えることができたらと思っている。

これからも選手、監督、マネージャーおよびスタッフとともに、力を合わせて頑張っていきますので熱い期待と応援よろしくお願いします。

現在のメンバー構成では四十雀リーグの中での対戦は年々苦しくなるばかりで、これからも四十雀リーグを続けるためには、50才になった若手メンバーの新規加入が望まれる。

古河マスターズ大会など50才以上チームとの試合は8戦4勝2分2敗の戦績であり、なるべく同年配同士の試合機会を増やしたいと考えている。

五十雀リーグを目標に数年前から50才以上チームの交流試合を提唱し、3年前から6チームが参加してはいるがなかなか軌道に乗らず、今年も公式には1試合実施されただけであった。11月の四十雀リーグ代表者会議で、県協会事務局が来年度から五十雀リーグ発足をアナウンスしているので、ようやく本格的スタートとなりそうで期待している。

1 湘南ペガサスシニア
神奈川県四十雀リーグの参加チームも年々増えて30チームになり、96年度から1部、2部、3部各10チームの3部制と

なった。50才以上の湘南OBおよびその友人・知人で構成されている我が湘南ペガサスシニアチームは、参加資格40才以上の四十雀リーグの中では最高年令で常にビリ争いをしていることから当然3部所属であり、平均年令が10年若いチームを相手に今年も苦戦の連続ではあつたが、0勝5分4敗の戦績で10チーム中9位の成績はまずまずといえる。特に40才前半の若手を揃えた新規加入の岩崎中OBと対戦して無失点に抑えた試合など、5回の引分試合では守備陣の健闘が称賛される。

2 付属・浦和・湘南の3校OB交流会 第1戦には初参加の韓国釜山チームと対戦し、噂に聞いていた通りの強豪で、15の完敗であったが、翌日の茨城とは引き分け、最終戦浜松との試合には勝って、総合成績は1勝1分1敗の五分で終わった。

ペガサスシニアほかの活動報告

27回 山本 修

古河マスターズ大会など50才以上チームとの試合は8戦4勝2分2敗の戦績であり、なるべく同年配同士の試合機会を増やしたいと考えている。

五十雀リーグを目標に数年前から50才以上チームの交流試合を提唱し、3年前から6チームが参加してはいるがなかなか軌道に乗らず、今年も公式には1試合実施されただけであった。11月の四十雀リーグ代表者会議で、県協会事務局が来年度から五十雀リーグ発足をアナウンスしているので、ようやく本格的スタートとなりそうで期待している。

小林忠生(23回)の早川3兄弟が揃って出場し、対浦和戦でそれぞれ得点を挙げられたのは特筆に値する活躍であった。早川純生(18回)、早川次郎(20回)、

4人が50才代試合にも重複出場した。参加資格が湘南OBに限定されていることによる人数不足で、湘南ペガサスシニア

湘南サッカーチームOB会報

平成8年12月30日

(5)

神奈川四十雀リーグ3部 9戦 0勝5分4敗 得点3 失点18 10チーム中9位	4/7 湘南 0-5 早園FC 6/16 湘南 0-0 川崎四十雀A 4/21 湘南 0-1 足柄上郡四十雀 9/1 湘南 1-1 県庁四十雀A 5/12 湘南 0-5 テベントス 9/29 湘南 1-1 神奈川四十雀 5/26 湘南 0-0 岩崎中45度 10/13 湘南 1-1 座間四十雀
第6回古河マスターズ大会50歳以上の部 4戦 1勝1分2敗 6/1 湘南 1-0 東京五十雀 6/2 湘南 0-2 ヴェールソレ十和田 湘南 1-2 平成四十雀 川口四十雀	
県スボレク五十雀 10/27 湘南 1-1 神奈川五十雀	
第3回刈谷スーパーエイジ大会 3戦 1勝1分1敗 得点3 失点6 10/5 湘南OB 0-5 韓国釜山 10/6 湘南OB 1-1 桃城四十雀 湘南OB 2-0 浜松快童クラブ	
第1回FUSサッカー交流会 4戦 3勝1分 得点10 失点3 11/23 湘南50 0-0 付属50 10/6 湘南60 1-0 付属60 湘南50 4-2 浦和50 10/6 湘南60 5-1 浦和60	

チームがOBだけに限定しては成立しないことをあらためて痛感した次第である。来年以降もグランド確保可能なら春秋年2回の開催が目標とされており、来年度は湘南OBの新しいメンバーが参加されることを期待している。

ペガサス報告

45回 浅倉 泰

現在湘南ペガサスは神奈川県都市四十雀リーグ(3部合計30チーム)を主な活動の舞台とし、マスターズ大会への参加やメンバーの所属している会社のチームとの練習試合などを行なっています。昨シーズンは四十雀リーグ一部で5勝3敗1引き分けで見事3位に入賞できました。久しぶりの入賞です。私がペガサスに入ってから4シーズン目ですが、入った頃は人数が足らないこともよくありました。最近は人数の心配をする必要がなく、逆に多く来すぎて、交代に頭を悩ますことの方が多くなりました。楽しみのサッカーですから試合に来た方は必ず出場することになっています。このところ毎年2・3人は新規入会がありますが、傾向としては湘南OB以外の方が多くなっています。40歳を越えて少年サッカーの世話ををして、再びサッカーへの情熱が甦ってきた方がいましたら是非入会してください。私はたまたま40前にジョギングを始めていて、ある程度体力的な自信があつたところにお説いを受け、ただ走るよりもずっと面白いと思い、今はサッカー中心の休日を過ごしています。ただ最近がが多く、テレビングの研究

をし、スパイラル、チタン、キネシオとのきなみ試してみました。現役の頃はほんと怪我をしたことがなく、自信を持っていたのですが、持久力は保持できていたものの、やはり筋力が落ちていたのに気づき、以後ダンベルをやって筋力の補強をしています。そのかいあって、最近は快調にサッカーを楽しんでいます。

私たちが現役の頃駿馬祭で元気のいいおじいさんとよく試合をやらされました。今そのおじいさんに自分がなっていると考えると、これは悲しいことなのか、素晴らしいことなのか、思い悩むところであります。ペガサスニアにはその頃のおじいさんがおじいさんになつて、現在も活躍されています。近々五十雀リーグも発足するようですので、これからも末永くサッカーを楽しんでいこうと考えています。

試合前の燃え上がる闘気と、試合後の和気藹々の雰囲気がとても心地よく、今年度の県の郡市リーグ戦には、できる限り参加してみました。結果は、5勝3敗1引き分けで第3位とのことでしたが、私自身の得点は0。何よりも悔しかったことは思うようなシュートが打てなかつたことで、新年は体力とテクニックの最構築に挑戦してみようと思つこのごろです。

ペガサス一年生

49回 元松 経男

本年2月、とうとう四十雀チームのペガサスから正式のお説いがきました。

湘南クラブを卒業し、就職・地方転勤による10年程のブランクの後、5年前から再びボールを蹴り始めました。5歳になつた長男とボール遊びをするところからの再スタートです。幼稚園年長組で少しだけがが多く、テレビングの研究

さて、ペガサスについて良かつたと思う出来事が11月9日になりました。副会長の桑田先輩のご尽力で「素晴らしい芝生のグランドでサッカーを楽しみ、地ビールで一杯飲み、一泊して懇親を深める」という会が御殿場高原のホテルで開かれたのです。昨年は全日本チームも宿をはつたという素晴らしい芝生のピッチで、小田原高校OBチームとの交流試合

する子どもに對抗して、切磋琢磨しようとはするものの、一試合フル出場するだけの体力を取り戻すのが精一杯の復帰一頭とは連動して動かないことに気づき、早く四十雀で誘ってくれないものかと心待ちにしていたのです。

そして、初めてのペガサスの練習試合。四十歳・最年少選手、華々しくデビューのつもりがまつたくのお門違い。体格も氣力も年齢差とは全く関係なく、どこの先輩方を見回しても、少年のようになります。ペガサスニアにはその頃のおじいさんはおじいさんになつて、現在も活躍されています。近々五十雀リーグも発足するようですので、これからも末永くサッカーを楽しんでいこうと考えています。

試合前の燃え上がる闘気と、試合後の和気藹々の雰囲気がとても心地よく、今年度の県の郡市リーグ戦には、できる限り参加してみました。結果は、5勝3敗1引き分けで第3位とのことでしたが、私自身の得点は0。何よりも悔しかったことは思うようなシュートが打てなかつたことで、新年は体力とテクニックの最構築に挑戦してみようと思つこのごろです。

平成8年12月30日

が行なわれました。はじめは、前日の雨のためグランド状態が悪く人工芝のピッチでの試合となりましたが、超OB戦から白熱の戦いが続き心地よい汗をかきました。幹事の諸先輩方の飽くなきご努力で途中からは、待望の芝生のピッチへと戦いの場は移されました。予定した試合が終わり一度は着替えられた大先輩も、若手の試合をみている内に血が騒ぎだしましたのか、再びユニフォーム姿となり、再試合となつたのでした。試合結果はさておき、大先輩の思いのほかの華麗なサッカーを観戦する事も、自分のスパイクで絨毯のような芝生のピッチを走り回ることも、そして、もちろん温泉と地ビールを味わうことも、現役の頃のサッカーサー僧に戻れたという意味で、とても有意義なものでした。幹事の諸先輩方御苦労様でした。そして、有難うございました。

鈴木先生に感謝する会

について(ご報告)

50回 沢田ミツル
鈴木先生に感謝する会について(ご報告)

私達がグランドで大変御世話をなつた鈴木中先生が平成8年の春に定年退職されました。

鈴木先生の定年退職をお祝するとともに、先生への感謝の気持ち現すため、

去る平成8年8月3日に、藤沢グランドホテルにて牧村(37回生)、小泉(39回生)の両先輩に発起人代表となつていただき、教え子達による「鈴木中先生に感謝する会」を開催いたしました。

当日は100名を超す教え子達が集まり、鈴木先生の奥様にも越こしいただき終始和やかに会が催されました。

また、湘南高校のもとサッカーチーム監督の宮原先生や湘南サッカーチーム副会長の桑田先輩(22回生)を始めとした多数のご来賓の方々にも越こしいただき、鈴木先生に対するお祝いのお言葉をいただきました。

会の最後の方では鈴木先生への記念品贈呈も行なわれ、旅行券を差し上げました。

久しぶりに集まるメンバーも多く、同期会の様相も呈した年代もあり、大変楽しい会となりましたことをご報告いたしました。



鈴木先生におかれましては、現在湘南高校サッカーチームの現役のご指導をいたしており、また神奈川県サッカーチームの理事長もお勤めであり、益々のご活躍をお祈りいたします。

尚、この会のご報告を終えるにあたり、当日の設営にご協力いただいたOBの方々や不明住所の整備にご協力いただいたOBの方々に厚く御礼申し上げます。

以上

トトカルチヨ湘南躍進!

63回 中澤 正紀

今年も春先から週末はサッカーチーム暮れている。トトカルチヨ湘南は62回卒から5年程の年代で構成されているやや若いOBチームとして卒業以来市のリーグその他大会で奮闘してきた。今年はその中でも最も実のある年となつていて。つい先日11月24日県の郡市大会で、藤沢市代表として出場し、見事優勝を成し遂げた。郡市大会で上位進出は、人材が00チームを制したということになるらしい。市予選での上位入賞は常連ではあったが、郡市大会で上位進出は、人材が数的にも今一つ集まりに欠けることの多かった4年前の大会のベスト8以来のことです。一つの節目となる様な成果だった。

20代も後半になりつつある自分にとつて体力的にも次第に弱まりつつある(日頃の鍛錬が欠けている?)ことは十分承知しているが、対戦相手が年を経るごとに若くなる事は、やはりキツイものがある。ここは一つ奮起して頑張ろうと思う

まだ他にありそうだ。OBチームとあってメンバーハイ固定することはほとんどないが、もうかれこれ現役時代から数えて10年も共にプレーしていると、試合のボ

イントが読めるらしい。以外と楽に試合ができるのだ。決してサボっているのではなく、効率良く試合が運べる。ああこんな試合展開の時はこんなプレーを皆ですればいいんだと分かる。そんな快感を感じつつサッカーに明け暮れることがで

きるのもいいもんだ、と最近ますますサッカーが楽しくなっているようだ。

▼試合が続く中で、市内の大会ではもの足りず、県の大会へ参加しようと今希望は膨らんでいる。やはり「まだまだやれる」と思いを募らせ、上昇気流にのつてトトカルチヨ湘南は今後も躍進を続けることは間違いないさそうだ。そう願う。

全国へ向けて

湘南高校サッカーチーム
龜田 光二

「全国へ行こう!!」これを合言葉に、今年のチームは、質の高いサッカー、そして勝つサッカーを目指して日々練習に励んでいる。また、全国に行くにはこの激戦区神奈川を勝ちぬかなければならぬ。そのため、2年が中心となつて内容の濃い練習を行なつている。そして、鈴木中先生や須藤先輩の厳しい指導の下、桐蔭や桐光に勝つための技術、体力、集中力そして勝負強さなどを見につけて努力している。

しかし、先日行なわれた新人戦湘南地区予選では、3位になつたもののどの試合も満足いくものではなく、逆にチームのレベル、トップチームとの差、そして全国大会への厳しさを身をもつて思い知らされる結果となつた。

そこで、僕達は、選手一人一人が自分に足りないものが何であるかを理解し、意識して練習に取り組むことで、個人の技術を磨き、決定力不足やパスワークの悪さなどチームの課題であるものに対しても、全員がより一層練習に集中して取り組むことでチームの強化を図ることにした。

「全国へ行こう!!」これを合言葉に、今年のチームは、質の高いサッカー、そして勝つサッカーを目指して日々練習に励んでいる。また、全国に行くにはこの激戦区神奈川を勝ちぬかなければならぬ。そのため、2年が中心となつて内容の濃い練習を行なつている。そして、鈴木中先生や須藤先輩の厳しい指導の下、桐蔭や桐光に勝つための技術、体力、集中力そして勝負強さなどを見につけて努力している。

しかし、先日行なわれた新人戦湘南地区予選では、3位になつたもののどの試合も満足いくものではなく、逆にチームのレベル、トップチームとの差、そして全国大会への厳しさを身をもつて思い知らされる結果となつた。

そこで、僕達は、選手一人一人が自分に足りないものが何であるかを理解し、意識して練習に取り組むことで、個人の技術を磨き、決定力不足やパスワークの悪さなどチームの課題であるものに対しても、全員がより一層練習に集中して取り組むことでチームの強化を図ることにした。

全国への道、それはとても厳しく、そして険しい道のりだと思う。しかし、僕達は、「全国へ行くんだ!!」という気持ちを強くもつて突き進みたい。そして全国にもう一度「湘南」の名を轟かせたい!かつて先輩達に成し遂げられたこと

が、僕達に出来ないはずがないのだか
ら。
最後になつたが、この紙面で、いつも暖かく見守つて下さる先輩方に感謝の意
を表す。そして、今後の僕達の活躍に期
待して頂きたい。

試合結果

◆関東大会予選

4/7	湘南	2-1	茅ヶ崎
4/14	湘南	0-2	厚木南

◆練習試合(合宿)

7/28	湘南	5-0	栄光
29	湘南	1-1	海老名
30	湘南	2-2	浅野

◆練習試合

4/21	湘南	0-1	城北工業
4/29	湘南	0-0	綾瀬西

◆高校選手権

8/6	湘南	3-0	生田東
8/7	湘南	1-0	藤沢西
8/9	湘南	0-0	清水ヶ丘

(3回戦PK負け)

◆浦和高校定期戦

5/8	湘南	2-0	浦和
-----	----	-----	----

◆インター杯県予選

5/5	湘南	4-0	山手学院
5/12	湘南	0-1	大船

◆練習試合

9/28	湘南	5-2	瀬谷
9/29	湘南	0-1	厚木マーカス

◆練習試合

6/8	湘南	1-0	永谷
6/16	湘南	0-0	有馬
7/13	湘南	1-0	浅野
7/14	湘南	6-0	瀬谷

◆新人戦(*リーグ戦)

10/10	湘南	4-2	寒川
11/3	湘南	1-1	茅ヶ崎
11/9	湘南	0-0	鶴峯

◆(湘南)サッカーコースト

7/23	湘南	0-1	日大藤沢
7/24	湘南	1-3	日川
7/25	湘南	0-0	静岡
		1/2位トーナメント	
7/27	湘南	1-1	湘南工大付
7/27	湘南	0-2	湘南台

*地区代表決定戦

11/17	湘南	1-0	慶應藤沢
11/24	湘南	1-1	鎌倉(PK勝ち)
11/30	湘南	1-1	北陵(PK負け)
12/1	湘南	1-0	湘南台 (地区3位)

特別会計報告

収入	
安保夫人寄付	100,000
超OB寄付	200,000
計	300,000

支出	
蹴球祭バス代	103,000
藤塚先生へお礼	50,000
平成8年度会計へ	147,000
計	300,000

平成8年度OB会会計報告

収入	
会費・寄付	980,500
特別会計から	147,000
繰り越し	90,235
利子	467
計	1,218,202

支出	
現役寄付	284,000
現役遠征補助(OB)	80,000
夏合宿補助(OB)	80,000
OBコーチ謝礼	200,000
OBコーチ講習会	20,600
蹴球祭	106,000
会議費	34,200
印刷費	185,400
通信・事務費	189,200
OB小田高戦補助	10,000
通帳残	28,802
計	1,218,202

蹴球祭のお知らせ

日時：1/15（水） 場所：湘南高校

10:30 集合

11:00 OB紅白戦

14:30 式典／グランド開き

現役vsOBトップチーム

(15:30～ 事務局幹事会)

注意事項 *OB紅白戦は2面使用。対外試合はなし。

*ユニフォームは色物と白の両方を準備して下さい。多目的ホール、体育館の利用のため室内シューズの用意を。

〈参考〉

OB紅白戦スケジュール 20分ハーフ (9~11人制)

①11:00~11:45 A面 60,50代 B面 30代

②11:50~12:35 A面 50,40代 B面 20代

③12:40~13:25 A面 40以上 B面 30,20代

④13:30~14:15 A面 予備 B面 予備

14:15～ グランド転換

1/15 新人戦は9:30 (希望ヶ丘高校)

総会・懇親会(天野先輩の米寿を祝会)のお知らせ

今回は、総会・懇親会を夜、場所を改めて行ないます。会長は退かれる天野先輩が米寿をむかえられますので、懇親会は感謝とお祝の会と致します。多数の皆様の参加をお願いします。出欠の返事は、出席なさる方のみ、同封のハガキに切手を貼って、ご返送ください。

日時：1/15（水） 17:00~19:30

場所：藤沢市民会館 第2展示場

会費：5,000円 ※ハガキのご返送は1月7日迄にご投函下さい。

会費改訂の提案

藤塚先生の退任後、湘南の先生ではない指導者がボランティアでサッカーチームの指導に当たっています。OB会としては、新谷指導者への支援体制を強化する必要がでてきました。その他現役への支援も含め、長年据え置いてきたOB会費をこの機会に下記の通り改訂しようという提案が事務局幹事会に提出され、承認されました。次の総会で承認をいただき、同時に実施したくお願いします。

*社会人 10,000円 *学生 5,000円

会計報告、会費納入のお願い

8年度は、鈴木中先生に感謝する会に参加したOBの掘り越しができ、例年より多くの190名の会員からの会費の納入がありました。また、安保夫人と超OBからの特別の寄付をいただきました。ありがとうございます。

9年度は、全会員の半分に当たる350名以上の方から納入いただくことを目標に活動を行なうこととなりました。なお、今回からは、改訂後の会費を納入していただくようお願いします。会費は、蹴球祭当日受け付けいたします。ご欠席の方はお手数ですが、同封振込用紙にてお振り込み下さい。また、下記銀行口座もご利用いただけます。

銀行口座 横浜銀行本店 普通 口座番号 019166

湘南高校サッカーチームOB会 武藤俊一 TEL.0466-34-9329 (会計報告7頁)

人事・組織案件の提案

天野会長が高齢のため会長を退かれることになりました。事務局幹事会より下記の通りの人事・組織案件を総会に提案します。承認をいただくようお願い致します。OB会活動の活性化を図り、現役への支援体制を強化するために活動委員会を新設します。また、各代の連絡責任者を決定したいとの提案が以前よりありました。この活動委員会を中心に各代の連絡責任者の決定をお願いしたいと思います。

名誉会長 天野武一 (1回) 会長 桑田 孝 (22回)

副会長 柳川明信 (27回) 井上 孝 (36回) 小泉親昂 (39回)

活動委員 山本 修 (27回) 大内健嗣 (31回) 篠田 亮 (33回)

牧村英樹 (37回) 伊通元康 (42回) ほか事務局スタッフ

会計監査 斎藤昭夫 (25回)

事務局の体制

藤塚先生の退任に伴い、先生が担当していた事務局作業を事務局スタッフで分担することとなりました。担当は下記の通りです。

*事務局 〒251 藤沢市大庭5090-5 山口晴夫 TEL 0466-87-7566

*事務局担当分担 事務局長：相羽克治 (41回) 総務：山口晴夫 (45回) 会計：武藤俊一 (53回) 他1名 (59回) 名簿管理：相馬政岐 (49回)、須藤和重 (63回)

広報：関佳史 (48回)、田村直也 (64回)、ほか1名